



2019年7月10日

株式会社横浜銀行との業務提携 ～千葉・横浜パートナーシップ～ の締結について

株式会社千葉銀行（頭取 佐久間 英利、以下「千葉銀行」といいます。）は、株式会社コンコルディア・フィナンシャルグループ（代表取締役社長 川村 健一）の子会社である株式会社横浜銀行（頭取 大矢 恭好、以下「横浜銀行」といいます。）と業務提携（以下「本業務提携」といいます。）を行うことを本日開催した取締役会で決議し、業務提携に関する基本合意書を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本業務提携の趣旨・目的

高齢化の進展や人口減少などの社会的変化、マイナス金利の長期化などの金融環境、さらにはデジタル技術の進展などにより、地域金融機関の経営基盤に大きな構造的変化が生じております。こうした構造的変化に対しては、両行が相互に協力してノウハウの共有や協業を行う方が、お客さまへより付加価値の高いサービスを提供できると考えております。

千葉銀行は千葉県、横浜銀行は神奈川県を主たる営業エリアとして、ともに首都圏を地盤とした同規模の地方銀行であることから、互いに理想的なパートナーであると判断し、連携の可能性について協議してまいりました。

その結果、両行の連携がそれぞれの持続的な成長と企業価値向上に資するものと合意に至ったことから、業務提携に関する基本合意書を締結いたしました。

2. 本提携の名称

本提携の名称は「千葉・横浜パートナーシップ」といたします。



注： 上記指標は2019年3月期末数値。個人顧客数は期中平均残高あり先。融資先数は個人による貸家業を含む事業性融資先。ROEは連結株主資本ベース、時価総額は2019年7月1日時点、横浜銀行の時価総額はコンコルディアFGのものを使用

3. 本業務提携の概要

両行は、お客さまに高度なサービス・商品を提供していくため、営業部門を中心とした連携施策をスピーディーに実施してまいります。

分野	連携施策
法人部門	M&A・事業承継やビジネスマッチングにおけるお客さまのニーズのマッチングや、シンジケートローン組成における連携、お客さまの海外進出支援における両行の海外拠点機能の相互活用など
個人部門	相続関連業務やデータベース・マーケティング等における両行の機能の相互補完・共同利用など
人材育成	行員のスキルアップやモチベーション向上に向けた階層別研修、各種セミナーの共同開催、相互理解の促進と連携施策推進に向けた本部の人材交流など



上記の連携施策実現に向けて、頭取会および営業部門・企画部門を中心とした協議会を設置して積極的に交流をはかっていくとともに、連携諸施策の実績を積み上げながら営業店を含めて強固な関係を構築し、さらに幅広い部門の連携について検討を進めてまいります。

4. 本業務提携の当事会社の概要

(1) 会社概要 (2019 年 3 月末時点)

商 号	株式会社 千葉銀行	株式会社 横浜銀行
設 立 年 月 日	1943 年 3 月 31 日	1920 年 12 月 16 日
本 店 所 在 地	千葉県千葉市中央区 千葉港 1 番 2 号	神奈川県横浜市西区 みなとみらい 3 丁目 1 番 1 号
代 表 者	佐久間 英利	大矢 恭好
資 本 金	1,450 億円	2,156 億円
総 資 産 (単 体)	14 兆 8,916 億円	16 兆 8,099 億円
純 資 産 (単 体)	8,866 億円	9,744 億円
預 金 残 高 (単 体)	12 兆 3,334 億円	14 兆 3,209 億円
貸 出 金 残 高 (単 体)	10 兆 1,368 億円	11 兆 1,331 億円
従 業 員 数 (単 体)	4,224 人	4,622 人
店 舗 数 (出張所・海外拠点含む)	191 か店	212 か店

(2) 最近 3 年間の業績概要

(単位：億円)

	千葉銀行 (単体)			横浜銀行 (単体)		
決算期	2017 年 3 月期	2018 年 3 月期	2019 年 3 月期	2017 年 3 月期	2018 年 3 月期	2019 年 3 月期
経常収益	2,012	2,051	2,102	2,459	2,407	2,279
業務粗利益	1,440	1,494	1,522	1,853	1,865	1,712
業務純益	609	665	685	850	857	691
経常利益	700	706	670	873	841	731
当期純利益	486	496	480	609	584	500

以 上